

2020年度相談支援員養成研修 【講義と演習】

相談支援の展開（支援プロセスの流れと大切にすべき視点を学ぶ：セッション1～セッション5）

【導入（ねらい）】プログラムのねらいや進め方について

（空閑浩人）

1. あらためて、この研修の「目標」は何？

「自らが所属する機関で、自らが実践する地域で、適切な自立相談支援事業を実施するために、そして、自らが出会う生活困窮状態にある方々や、相談者の方々が、『(もう一度) 前を向く、前を向ける、向こうと思える』かかわりや支援を実践できる相談支援者に、私はなる!!!!」ということ

2. 諸君ヨ 一人一人ハ大切ナリ (by 新島襄)

もっともっと「大切」を増やしていこう (by あいみょん「ハルノヒ」)

- ・その一人との「出会い」を大切にするために
- ・その一人を大切にする「面接」であるために
- ・その一人を大切にする「アセスメント」であるために
- ・その一人を大切にする「支援プラン」であるために
- ・その一人を大切にする「多職種・多機関連携、協働」であるために
- ・その一人を大切にする「支援ネットワーク形成」であるために
- ・その一人を大切に続ける「支援の過程」であるために
- ・その一人が大切にされる「地域、コミュニティ」であるために
- ・その一人が大切にされる「社会」であるために
- ・その一人がずっと大切にされて生きていける「世の中」であるために・・・

→そのために、私たち相談支援員の役割とは??

3. 生活困窮者自立支援制度における相談支援員の役割

- “きちんと” →丁寧な相談支援をする
- “ずっと” →切れ目のない支援をする
- “みんなで” →チームによる支援をする
- “つながる・つくる” →社会資源と活用と開発をする

4. プログラムの概要

- ・支援を必要とする個人や家族との出会い（ケース発見、アウトリーチ）、初回面接・インテークやアセスメント、支援プランの作成と実行、そして評価と終結に至る相談支援の展開（セッション1～5）について、事例と演習、講義を通して学びます。
- ・あわせて、その展開過程で求められる「援助関係の構築」や、「多職種や多機関との連携」のあり方について学びます。
- ・オンライン形式ではありますが、ぜひ「積極的に&楽しく」参加してください！

5. 「帳票類標準様式の活用」について

- ・この演習は、「帳票類標準様式」も使用しながら行います。
- ・各シートの詳細な記入方法もちろん大切ですが、相談支援を展開するうえでの基本的な考え方や支援者としての視点や姿勢などについての学びを深めるという意味で、様式の活用やシートの記入に取り組んでください。